

授業科目名 <英訳>	現代史学(演習II) Contemporary History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 助教 小野 容照					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	水2	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
題目	朝鮮語文献の講読										
【授業の概要・目的】											
朝鮮語で書かれた文献をテキストとして講読し、テキストに登場する人物・事件・事柄などについて調査する。この作業を通して、朝鮮語の読解能力を高めるとともに、関連事項を調査するための方法（とくに韓国側のインターネット情報へのアクセス）を習得することを目指す。											
【到達目標】											
1) 朝鮮語の読解能力を高める 2) 朝鮮の言語や歴史に関する韓国のインターネット・リソースを活用できるようにする 3) 朝鮮の歴史に関する理解を深める											
【授業計画と内容】											
植民地時代の朝鮮に関する本をテキストとする予定である。 授業は、受講者による音読・日本語訳と授業担当者による解説を中心に進め、日本語訳の担当者は事前に指定する。初回はガイダンス、二回目の授業から文献を読み進める。授業の後半では、朝鮮語や韓国・朝鮮の歴史研究に役立つ韓国語のホームページの使用方法も解説する。 また、朝鮮語の解釈だけでなく、テキストに登場する植民地朝鮮の歴史的事象についても、折に触れて説明していく予定である。											
【履修要件】											
初級程度の朝鮮語（韓国語）を習得していることが望ましい。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末試験は行わず、平常点を重視する。											
【教科書】											
授業で使用するテキストは、担当教員が準備して配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学習（予習・復習）等】											
受講者数にもよるが、毎回2-3頁程度読み進める予定である。日本語訳を指定されていない人も、該当するページの予習をしてもらうことが望ましい。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											